港中だより

伊勢市立港中学校　№18
R2．10．19
校長　　金森　晃生

校外学習に行きました　by1・2年生

　１０月６日（火）に１・２年生が校外学習に行きました。校外学習は本来、４月に行く予定でしたが、学校が臨時休校になったため、この日になりました。目的地も最初の計画とは異なりましたが、１年生は三重県総合博物館（MieMu）に行き、三重県の自然・歴史・文化について展示を見学しながら、学びました。２年生は伊賀市の上野公園を中心に、なぞ解きをしながら街を散策し、歴史や文化を体感しました。天気に恵まれ、各学年とも屋外で昼食をとり、楽しい中にもしっかりと学習をしました。

２年生　伊賀の旅

１年生　津の旅

1年生福祉体験学習

10月8日（木）に1年生が福祉体験学習に取り組みました。例年1年生は福祉体験を通して、自分の生き方、差別のない社会を実現するために何ができるかなどを考え学ぶ授業を取り入れています。今年も社会福祉協議会のみなさまにご協力いただき、講話と車いす体験を行いました。ユニバーサルデザインについては、限られた人のためだけにあるのではなく、誰もが使いやすい作りになっていることを改めて学習しました。車いす体験は、実際に乗ってみて、これまでにはわからなかったことや感じなかったことに気づけたと思います。また、危険な個所や操作が難しいことなども体験しました。今回の体験を通じて、これからの日常生活で何ができるかなどを考え、みんなが思いやりの心を持って、誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて、一人ひとりが努力するきっかけになってほしいと思います。

～あいさつ運動に取り組みました　生徒会～

先日の「港中だよりNo.16」で、後期生徒会本部役員選挙の演説の中で「もっとあいさつができる学校にしたい」と話した候補者が何人かいたことを書きました。すると、12日の登校時間に校門前で本部役員さんが、自主的にあいさつ運動を始めてくれました。次の日には、これまでも毎月1回実施していた「生活・福祉委員」のみなさんと一緒に、校門前、体育館前、校舎の玄関と総勢20人を超える“あいさつ隊”が元気に「おはようございます」と声をかけてくれていました。秋のさわやかな空同様、大変すがすがしい気分になりました。日頃から自然にあいさつができるようになると、学校も明るく、活気が満ちて、元気になるように思います。ぜひ、あいさつ運動の期間が終わっても、各自があいさつを続けていってほしいと思います。

～保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、また各ご家庭でも検温、マスクの着用等、感染症予防対策にご協力いただきありがとうございます。感染症はまだ収まる気配はありません。これからも引き続きご協力をお願いいたします。

さて、今年度は新型コロナウイルスの影響で、学校生活・学校行事・部活動などすべての活動がこれまでと異なっています。24日の文化祭も感染症予防対策により、保護者のみなさまは人数制限や時間差での来校など、ご協力をお願いしている所です。また、部活動につきましても、ほとんどの公式試合が中止される中、各顧問が感染症予防対策を検討したうえで、子どもたちの活動を支援するよう考えています。公式戦、練習試合など他校生と接触がある場合には「感染症予防対策」を保護者のみなさまに提示させていただき、確認していただいたうえで「参加承諾書」を提出していただいています。ご面倒ですが、必ずご確認の上、承諾される場合はご提出をお願いいたします。なお、承諾できない場合は顧問にご連絡いただければ結構です。当然その場合、生徒に差別や偏見のないよう配慮していきます。

お願いばかりで申し訳ありませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。